

2023年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2023年5月12日

Your Dreams, Our Challenge



2023年12月期 第1四半期業績	_____	P.03
1. 業績のポイントと主要項目	_____	P.04
2. セグメント別・地域別の状況	_____	P.11
2023年通期業績見通し	_____	P.21
付属資料	_____	P.28

2023年12月期第1四半期

前年同期比

売上高	4,892 億円	+165億円
営業利益	342 億円	▲235億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	221 億円	▲85億円

- 売上高は塩ビの販売価格下落の影響を受けたものの、建築用ガラスや自動車用ガラスなどの販売価格の上昇や為替の影響から前年比増収
- 営業利益は製造原価の悪化および原燃材料高などの影響から前年比減益

2023年12月期通期見通し

前期比

売上高	21,500 億円	+1,141億円
営業利益	1,900 億円	+61億円

- 2023年2月発表時の業績見通しから変更なし

1. 業績のポイントと主要項目



2023年12月期 第1四半期業績

* うち、為替差影響は+322億円、連結範囲変更の影響は+7億円

(億円)

		FY2022 1Q	FY2023 1Q	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		4,727	4,892	+ 165*	(+) 自動車用ガラスの出荷増加 (+) 建築用ガラス、自動車用ガラスの販売価格上昇 (+) 円安 (-) 塩ビの販売価格下落
営業利益		578	342	▲ 235	上記に加え、 (-) 製造原価の悪化 (-) 原燃材料価格の上昇
税引前利益		544	366	▲ 178	上記に加え、 (+) 為替差益を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		305	221	▲ 85	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 116.20	JPY 132.34		
	1EUR	JPY 130.39	JPY 142.10		
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	95.57	80.32		

セグメント別業績 前年同期比較

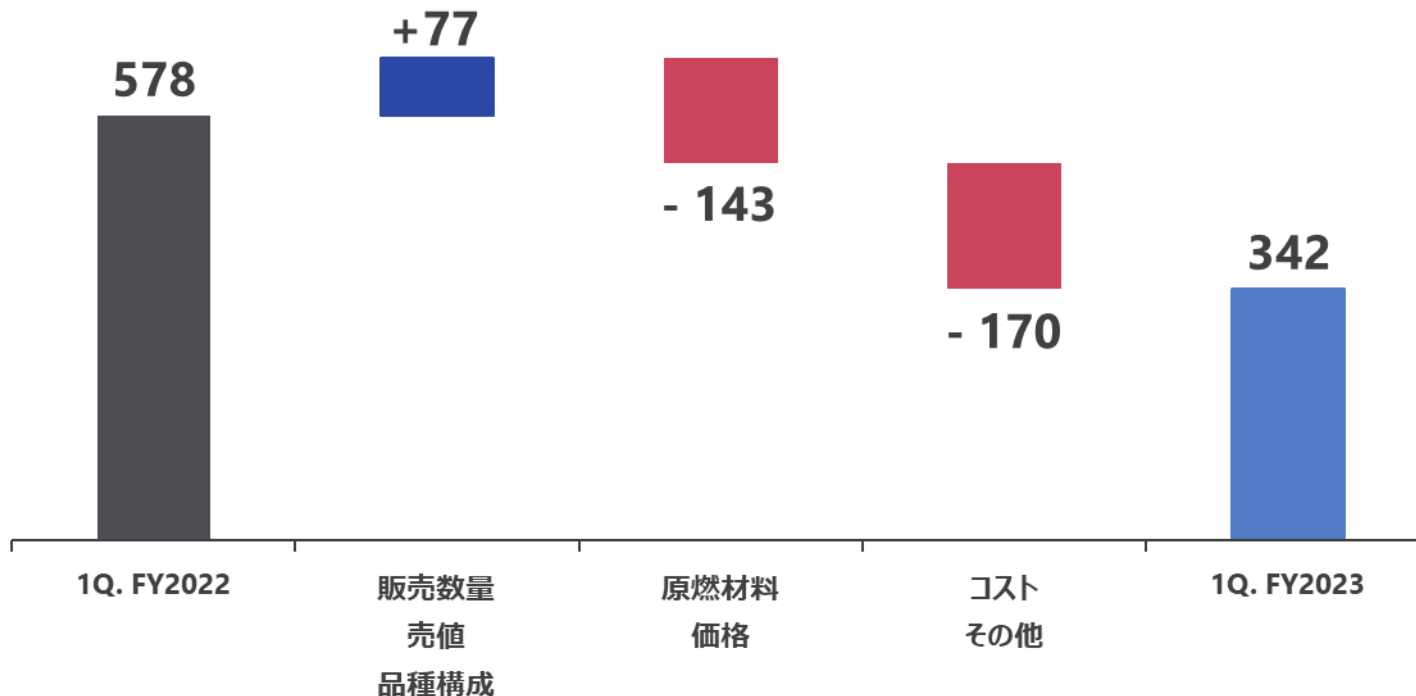
(億円)

	FY2022 1Q (a)		FY2023 1Q (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	1,040	73	1,205	93	+ 165	+ 20
 オートモーティブ	936	▲ 33	1,184	48	+ 249	+ 81
 電子	760	80	702	19	▲ 57	▲ 61
 化学品	1,617	406	1,410	172	▲ 207	▲ 234
 ライフサイエンス	332	46	332	6	▲ 0	▲ 39
 セラミックス・その他	199	8	199	6	+ 1	▲ 3
 消去	▲ 157	▲ 2	▲ 141	▲ 2	+ 16	+ 0
連結合計	4,727	578	4,892	342	+ 165	▲ 235

営業利益増減要因分析(1Q. FY2023 vs. 1Q. FY2022)

前年比 235億円減益

(億円)



連結財政状態計算書

	2022/12	2023/3	増減 (億円)	
現金及び現金同等物	2,097	2,021	▲ 76	
棚卸資産	4,365	4,530	+ 165	
有形固定資産・無形資産及びのれん	15,148	15,389	+ 241	● 為替影響 +202億円
その他	6,530	6,572	+ 42	
資産合計	28,140	28,512	+ 371	● 為替影響 +353億円
有利子負債	6,502	7,061	+ 558	
その他	5,782	5,579	▲ 203	
負債の部	12,284	12,639	+ 355	
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,903	13,927	+ 24	
非支配持分	1,953	1,946	▲ 8	
資本の部	15,856	15,872	+ 16	● 為替影響 +146億円
負債及び資本合計	28,140	28,512	+ 371	
D/E比率	0.41	0.44		

連結キャッシュフロー計算書

1Q	FY2022	FY2023	(億円)
税引前利益	544	366	
減価償却費及び償却費	427	424	
運転資金増減	▲ 266	▲ 387	
その他	▲ 101	▲ 102	
営業活動によるCF	603	301	
投資活動によるCF	▲ 305	▲ 471	
フリーキャッシュフロー	298	▲ 170	
有利子負債増減	283	460	
支払配当	▲ 289	▲ 233	
その他	▲ 3	▲ 168	
財務活動によるCF	▲ 8	58	
現金等に係る換算差額	136	35	
現金等の増加額	426	▲ 76	

設備投資・減価償却費等

1Q	FY2022	FY2023	(億円)
設備投資額	404	487	
建築ガラス	40	56	
オートモーティブ	43	48	
電子	166	107	
化学品	116	204	
ライフサイエンス	40	67	
セラミックス・その他	1	4	
消去	▲ 2	▲ 1	
減価償却費	427	424	
建築ガラス	56	58	
オートモーティブ	70	77	
電子	163	128	
化学品	107	123	
ライフサイエンス	26	34	
セラミックス・その他	5	5	
消去	▲ 0	▲ 0	
研究開発費	120	136	

主な設備投資案件

- ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- ディスプレイ中国G11投資（電子）
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- バイオ医薬品能力増強（ライフサイエンス）
など

2. セグメント別・地域別の状況



1Q	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	1,040	1,205	+ 165*
アジア	319	373	+ 54
欧米	719	831	+ 112
(セグメント間)	2	1	▲ 1
営業利益	73	93	+ 20

* うち、為替差影響は+86億円、連結範囲変更の影響は+7億円



欧米

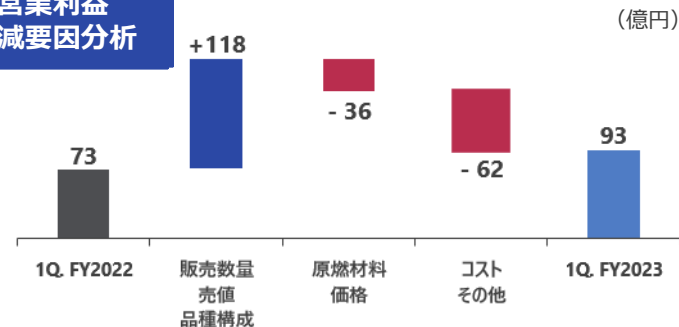
- 景気減速の影響を受けた欧州で出荷が減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により増収



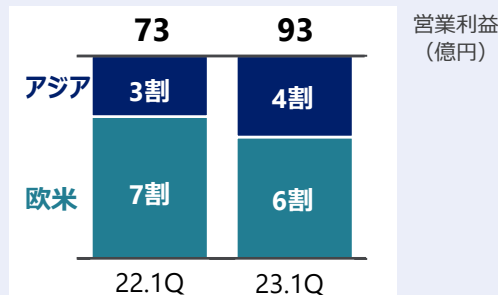
アジア

- 日本を除く地域で出荷が減少したものの、販売価格の上昇により増収

営業利益 増減要因分析



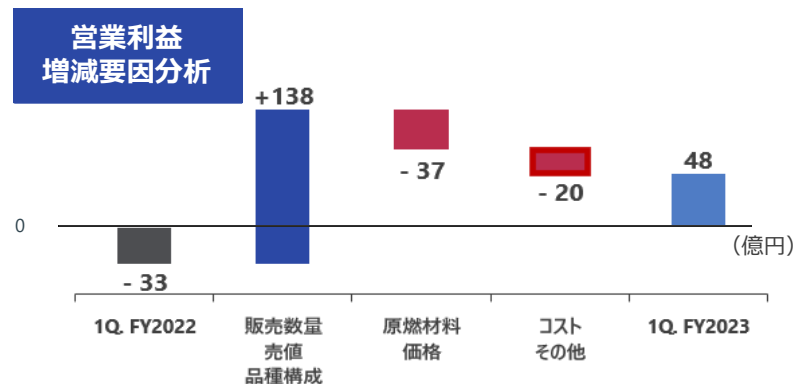
営業利益 構成比 共通費配賦前



オートモーティブ セグメント

1Q	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	936	1,184	+ 249*
オートモーティブ (セグメント間)	935	1,183	+ 248
営業利益	▲ 33	48	+ 81

* うち、為替差影響は+83億円、連結範囲変更の影響はなし



自動車用ガラス

- 自動車生産台数の増加により、当社グループ出荷も増加
- 販売価格の上昇や品種構成の改善、為替の影響もあり増収

1Q	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	760	702	▲ 57*
ディスプレイ	450	358	▲ 92
電子部材	304	341	+ 36
(セグメント間)	5	4	▲ 2
営業利益	80	19	▲ 61

* うち、為替差影響は+25億円、連結範囲変更の影響はなし

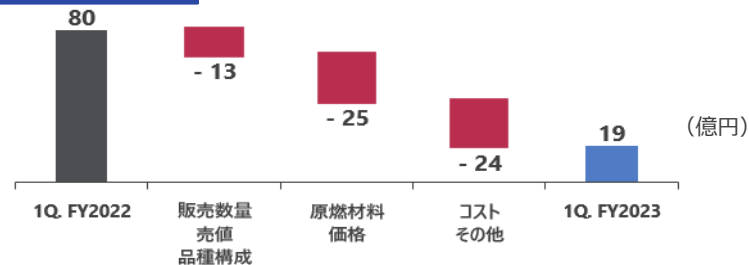
ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板およびディスプレイ用特殊ガラスの出荷が減少
- 原燃材料高および設備の稼働率低下により製造原価が悪化

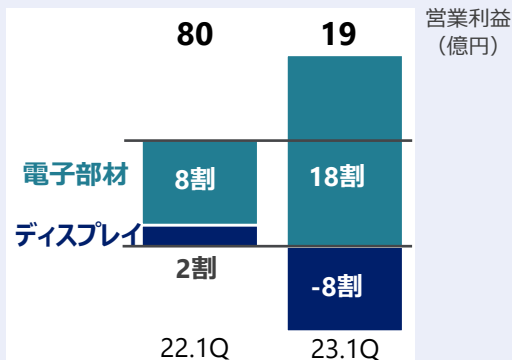
電子部材

- 半導体関連製品の出荷が堅調に推移したことに加え、為替の影響などにより増収

営業利益 増減要因分析



営業利益 構成比 共通費配賦前



(ご参考)ディスプレイ事業の収益改善策 ～国内生産を大幅縮小～

- ディスプレイ事業の抜本的な収益改善策の一環として、関西工場高砂事業所における液晶用ガラス基板製品の生産終了を決定
- ROCE10%達成に向け、事業を再生

2022年の環境変化

パネル需給調整

- ・TV等、巣ごもり需要の反動

原燃材料の高騰・急激な円安の進行

- ・原燃材料高・アジア通貨高による製造コスト上昇

収益改善策

- ・低収益のサイズのガラス基板事業から撤退し、大型パネル用ガラス基板事業に集中

- ・生産ラインの統廃合を含めた抜本的な事業構造改革を推進

- ・大型パネル用ガラス基板事業集中に必要な投資のみ厳選、その他投資は凍結

⇒早期にROCE 10%への道筋をつける

生産ライン統廃合の一環として国内生産を大幅縮小

- ・関西工場高砂事業所での液晶用ガラス基板製品の生産を2023年末までに終了

1Q	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	1,617	1,410	▲ 207*
エッセンシャルケミカルズ	1,217	1,009	▲ 208
パフォーマンスケミカルズ	385	391	+ 6
(セグメント間)	14	9	▲ 5
営業利益	406	172	▲ 234

* うち、為替差影響は+102億円、連結範囲変更のなし



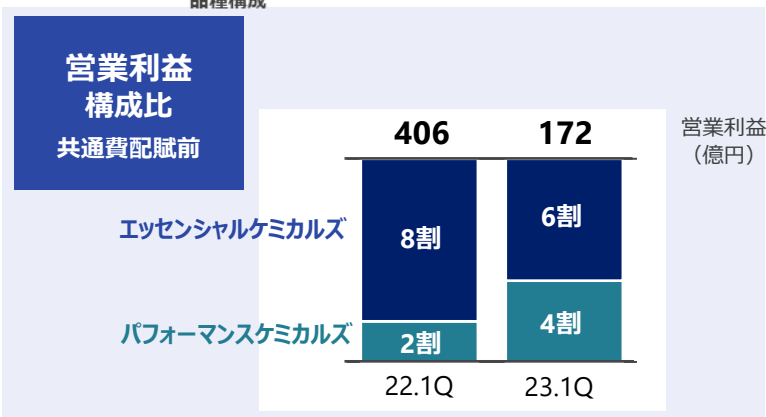
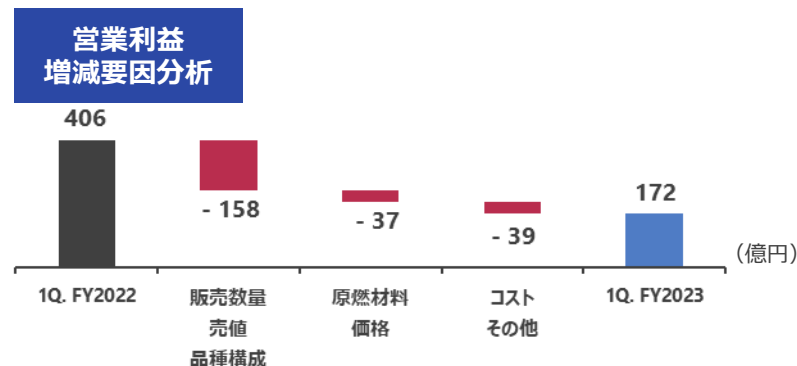
エッセンシャルケミカルズ

- 塩化ビニル樹脂等の販売価格が下落



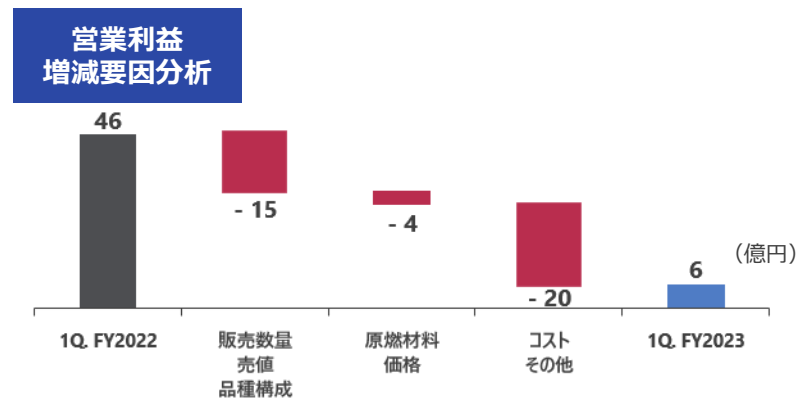
パフォーマンスケミカルズ

- フッ素関連製品の出荷は減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により増収



1Q	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	332	332	▲ 0*
ライフサイエンス	316	321	+ 5
(セグメント間)	17	11	▲ 6
営業利益	46	6	▲ 39

* うち、為替差影響は+23億円、連結範囲変更の影響はなし



🧬 ライフサイエンス

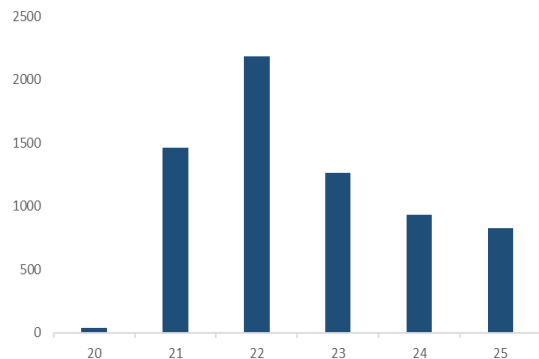
- 新型コロナウイルス関連製品の特需消失に伴いバイオ医薬品の受託は減少したものの、為替の影響により売上高は前年並み
- バイオ医薬品分野における能力増強に伴う先行費用等が発生

(ご参考) バイオCDMO事業を取り巻く環境の変化

- 中長期的にはバイオCDMO市場は拡大する見通し
- 短期的には、新型コロナウイルス関連特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減の影響が懸念される

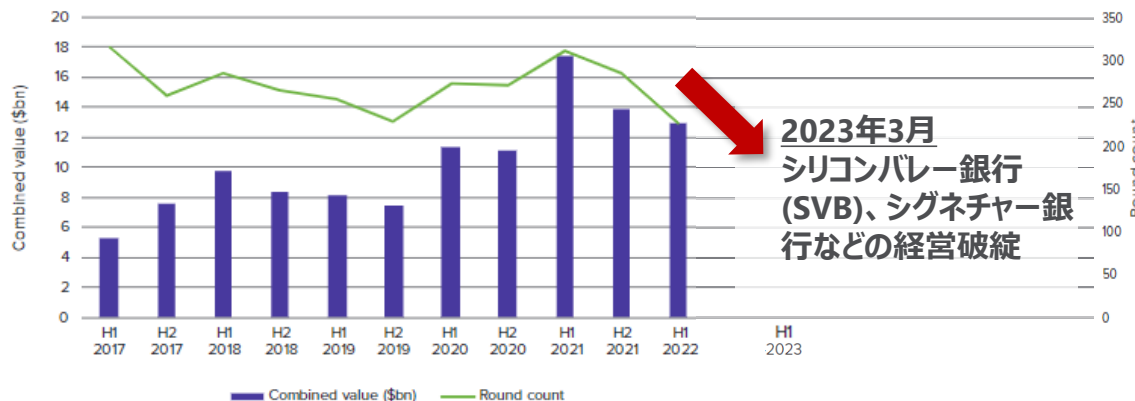
新型コロナウイルス関連需要推移*

市場規模(百万\$)



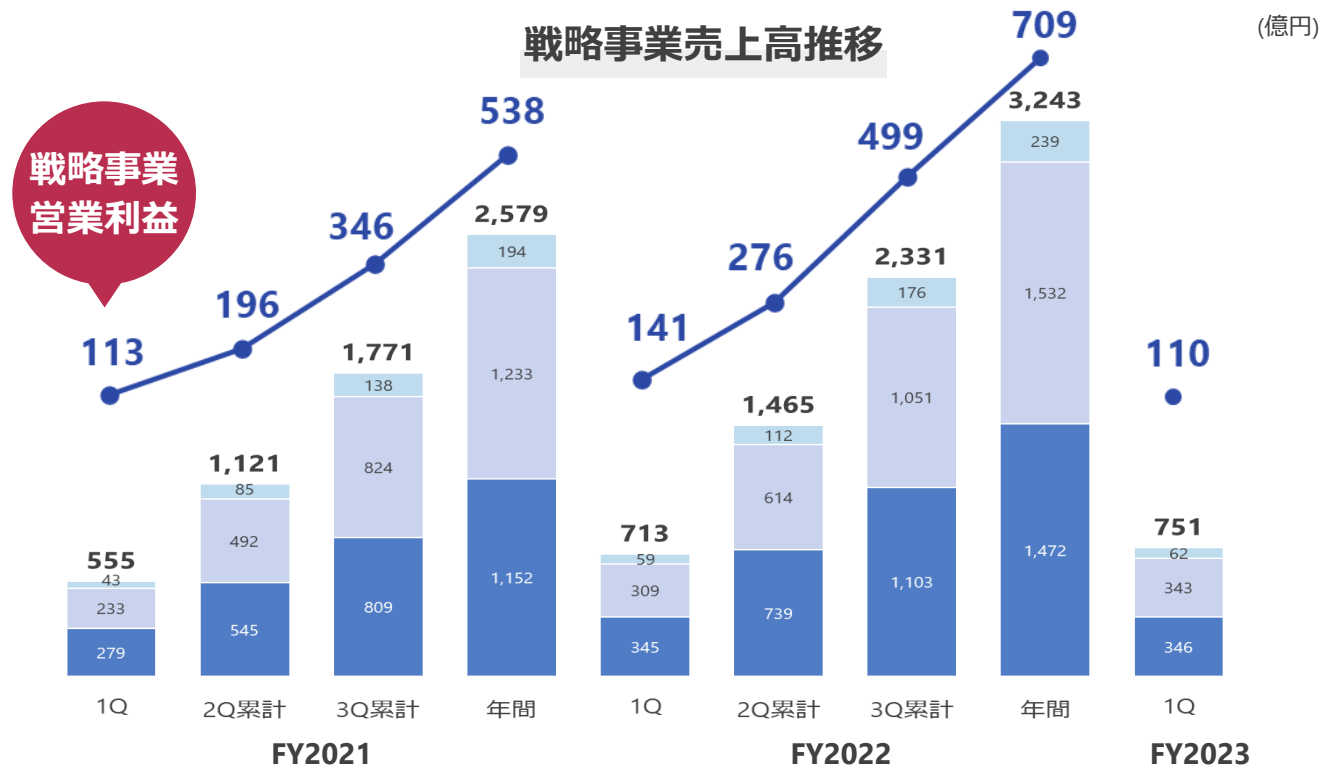
新型コロナウイルス関連特需が
消失

ベンチャーキャピタルからバイオベンチャーへの資金流入推移**



米国における急激な利上げに加え、SVB経営破綻に端を発した金融不安から
バイオベンチャーへの資金流入減の継続が懸念される

戦略事業の利益貢献



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材
(含5G通信)

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

地域別業績 前年同期比較

1Q | FY2022 | FY2023 増減 (億円)

売上高	4,727	4,892	+ 165
日本・アジア	3,127	2,998	▲ 129
アメリカ	456	530	+ 73
ヨーロッパ	1,143	1,364	+ 221
営業利益	578	342	▲ 235
日本・アジア	601	326	▲ 274
アメリカ	23	0	▲ 23
ヨーロッパ	48	128	+ 80
地域共通費用	▲ 94	▲ 112	▲ 18

為替影響
+322億円
連結範囲変更の影響
+7億円

2023年通期業績の見通し

2023年 通期業績見通し

■ 2023年2月発表時の業績見通しから変更なし

		FY2022	FY2023 予想	(億円)
売上高		20,359	21,500	
	(上期)	9,783	10,300	
営業利益		1,839	1,900	
	(上期)	1,153	750	
税引前利益		585	1,470	
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		▲ 32	870	
1株当たり配当 (円)		210	210	
営業利益率		9.0%	8.8%	
ROE		-	6.3% *	
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 131.4	JPY 125.0	
	1 EUR	JPY 138.0	JPY 135.0	
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	96.3	85.0	
エチレン(CFR SEA)	USD/MT	1,054	1,000	

* FY2023予想のROEは、2022年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

	FY2022 (a)		FY2023予想 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,837	327	5,000	360	+ 163	+ 33
 オートモーティブ	4,178	▲ 98	4,700	80	+ 522	+ 178
 電子	3,072	147	3,400	380	+ 328	+ 233
 化学品	6,604	1,261	6,500	850	▲ 104	▲ 411
 ライフサイエンス	1,418	169	1,600	210	+ 182	+ 41
 セラミックス・その他	866	37	800	20	▲ 66	▲ 17
 消去	▲ 616	▲ 3	▲ 500	0	+ 116	+ 3
連結合計	20,359	1,839	21,500	1,900	+ 1,141	+ 61

2023年 見通し



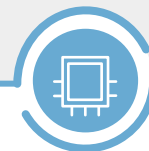
建築ガラス

- 欧州ではインフレや景気減速などの懸念があるものの、エネルギー削減のための高断熱ガラスへの置き換え需要が出荷を支え
- アジアでは、高断熱・遮熱ガラス需要拡大などにより出荷が堅調に推移



オートモーティブ

- 半導体を中心とした部品供給不足の影響の緩和により自動車生産台数が緩やかに回復し、当社出荷も増加
- 従来より取り組んできた価格政策の更なる効果が発現する見込み
- 人件費や欧州を除く地域での原燃価格の上昇継続を見込む
- 欧州を始めとする構造改善効果を見込む



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板は構造改革施策の推進に加え、需要の回復と減価償却費負担の減少により収益が改善
- ディスプレイ用特殊ガラスは主要なお客様向けからの受注が拡大し、出荷が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場の減速により踊り場となるが、半導体関連部材はEUV露光用フォトマスクブランクスを中心に堅調に推移
- プリント基板材料は通信インフラや車載向け需要拡大により出荷が増加

2023年 見通し



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 昨年末をボトムに市況は緩やかな回復を見込むが、年間では前年水準を下回る

パフォーマンスケミカルズ

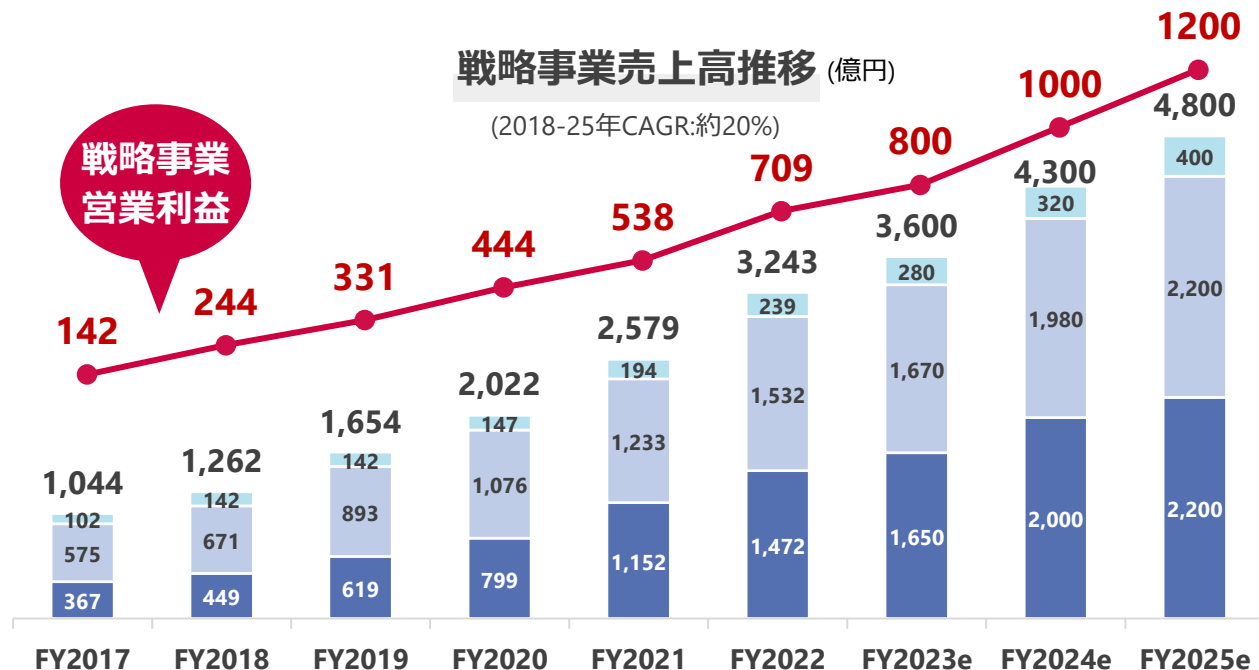
- 半導体関連、輸送機器分野を中心にフッ素関連製品の需要が堅調に推移し、出荷が増加



ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO・バイオ医薬品
CDMOの受託件数は増加見込みも、
バイオ医薬品CDMOにおける新型コロナウイルス関連製品の特需消失、バイオベンチャーへの資金流入減による影響が懸念される
- 能力増強に伴い、費用が先行して発生する見通し

■ 中期的には順調に拡大するも、2023年は成長がやや鈍化



主な製品・事業

■ モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材
(含5G通信)

■ エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

■ ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間	FY2022	FY2023e	(億円)
設備投資額	2,366	3,000	
建築ガラス	175	250	
オートモーティブ	298	270	
電子	800	930	
化学品	649	950	
ライフサイエンス	431	580	
セラミックス・その他	14	20	
消去	▲ 2	0	
減価償却費	1,857	1,880	
建築ガラス	239	240	
オートモーティブ	325	330	
電子	684	620	
化学品	475	520	
ライフサイエンス	115	150	
セラミックス・その他	19	20	
消去	▲ 1	0	
研究開発費	523	580	

主な設備投資案件

- ディスプレイ中国G11投資（電子）
- 電子部材関連製造設備増強（電子）
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- バイオ医薬品能力増強（ライフサイエンス）

など

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

		営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産		(億円)
		2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	
	ガラス	273	229	819	794	4.6%	3.6%	6,000	6,300	
	(ご参考) 建築ガラス	—	327	—	566	—	10.9%	—	3,000	
	(ご参考) オートモーティブ	—	▲ 98	—	227	—	▲3.0%	—	3,300	
	電子	368	147	971	830	5.9%	2.6%	6,250	5,650	
	化学品	1,388	1,429	1,887	2,020	21.5%	18.1%	6,450	7,900	
	(ご参考) 化学品	—	1,261	—	1,736	—	23.3%	—	5,400	
	(ご参考) ライフサイエンス	—	169	—	284	—	6.7%	—	2,500	
	セラミックス・その他	35	37	55	56	14.0%	18.4%	250	200	
	消去ほか	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 4	—	—	—	—	
合計		2,062	1,839	3,729	3,696	10.9%	9.2%	18,950	20,050	

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

営業利益に対するインパクト

為替



1%円高で
5億円*減益

*JPYに対して全ての通貨が
同じ割合で動いた場合の
影響額

原油



1バレルあたり
1ドル上昇した場合
4.2億円*減益

*ヘッジ影響除く

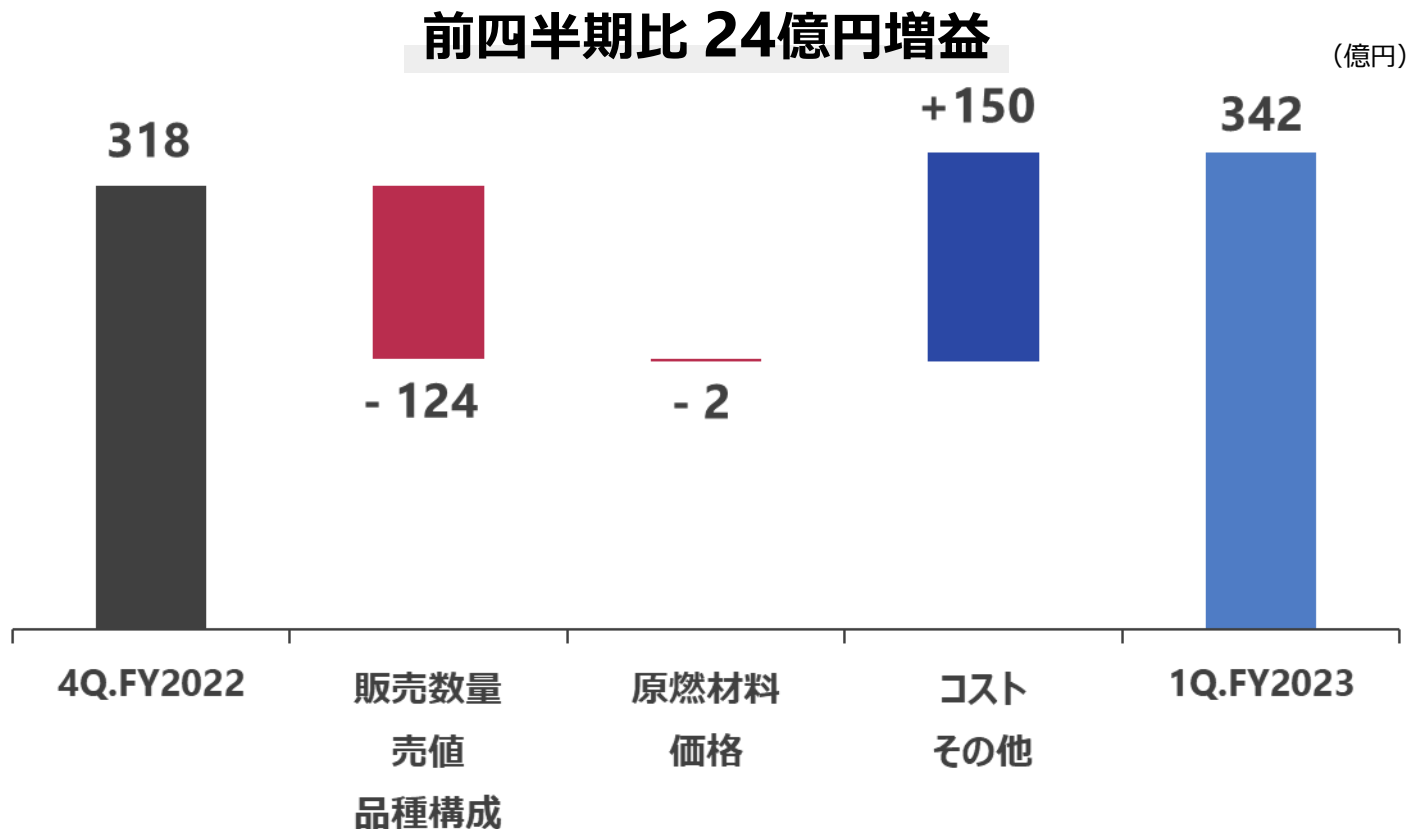
化学品市況



- ① 苛性ソーダ
国際市況が\$1下がると\$1Mの減益
- ② 塩ビスプレッド
\$1下がると\$1.2Mの減益*

*塩ビスプレッド：塩ビ市況－
(エチレン市況×0.5)

営業利益増減要因分析(1Q.FY2023 vs. 4Q.FY2022)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1Q.FY2023	373	72	758	1	1,205
	1Q.FY2022	319	64	655	2	1,040
 オートモーティブ	1Q.FY2023	602	224	358	1	1,184
	1Q.FY2022	510	182	243	1	936
 電子	1Q.FY2023	617	78	4	4	702
	1Q.FY2022	681	70	3	5	760
 化学品	1Q.FY2023	1,243	84	74	9	1,410
	1Q.FY2022	1,452	77	73	14	1,617
 ライフサイエンス	1Q.FY2023	79	72	170	11	332
	1Q.FY2022	83	63	169	17	332
 セラミックス・その他	1Q.FY2023	85	-	-	115	199
	1Q.FY2022	81	-	-	117	199
 消去	1Q.FY2023	-	-	-	▲ 141	▲ 141
	1Q.FY2022	-	-	-	▲ 157	▲ 157
合計	1Q.FY2023	2,998	530	1,364	-	4,892
	1Q.FY2022	3,127	456	1,143	-	4,727

業績推移 (1)

建築ガラス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	(億円)
売上高	1,040	1,216	1,247	1,334	1,205	
アジア	319	361	384	405	373	
欧米	719	853	861	925	831	
(セグメント間)	2	2	2	4	1	
営業利益	73	132	86	36	93	
オートモーティブ	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	
売上高	936	956	1,112	1,174	1,184	
オートモーティブ	935	956	1,111	1,174	1,183	
(セグメント間)	1	0	0	1	1	
営業利益	▲ 33	▲ 58	▲ 63	56	48	
電子	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	
売上高	760	722	777	814	702	
ディスプレイ	450	420	346	338	358	
電子部材	304	296	425	470	341	
(セグメント間)	5	6	6	6	4	
営業利益	80	12	31	24	19	

業績推移 (2)

化学品	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	(億円)
売上高	1,617	1,720	1,641	1,626	1,410	
エッセンシャルケミカルズ	1,217	1,298	1,199	1,184	1,009	
パフォーマンスケミカルズ	385	410	427	429	391	
(セグメント間)	14	12	15	13	9	
営業利益	406	418	250	187	172	
ライフサイエンス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	
売上高	332	378	356	352	332	
ライフサイエンス	316	376	347	342	321	
(セグメント間)	17	2	9	9	11	
営業利益	46	57	53	14	6	

数量・価格動向

前年同四半期比（YoY）

				2022				2023
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	+1割	+1割強	+1桁半ば	-1割弱	-1割弱
			価格	+2割弱	+約2割	+2割強	+2割	+約3割
		欧州*	数量	+約1割	微減	-1割強	-約2割	-2割弱
			価格	+4割強	+約6割	+8割弱	+約5割	+約2割
	自動車生産台数 (S&P global 4/4データより)	日本	数量	-14%	-15%	+24%	+8%	+9%
		北米	数量	-2%	+11%	+23%	+8%	+7%
		欧州・ロシア	数量	-17%	-4%	+22%	+7%	+11%
電子	ディスプレイパネル需要** (Omdia社)	グローバル	面積	+4%	-4%	-9%	-7%	-17%

**Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 4Q22 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		18/12	19/12	20/12	21/12	22/12
売上高	百万円	1,522,904	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874
営業利益	百万円	120,555	101,624	75,780	206,168	183,942
営業利益率	%	7.9	6.7	5.4	12.1	9.0
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	89,593	44,434	32,715	123,840	△ 3,152
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	7.7	3.9	2.9	10.2	△ 0.2
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.4	4.4	3.1	7.9	6.7
自己資本比率	%	51	50	44	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.43	0.47	0.63	0.41	0.41
営業CF / 有利子負債	倍	0.35	0.32	0.29	0.54	0.33
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	399.51	200.85	147.84	559.11	△ 14.22
一株当たり配当金	円	115	120	120	210	210
EBITDA *4	百万円	259,425	231,857	208,459	383,226	253,209
為替レート (期中平均)	円/ドル	110.43	109.05	106.82	109.80	131.43
	円/ユーロ	130.42	122.07	121.81	129.89	138.04

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均) *2 営業利益/総資産 (期中平均) *3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。 *4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの 主な素材・ソリューション

社会的価値

気候変動問題への対応

- 建築用ガラス ■ 自動車用赤外線カットガラス
- バイオマスボイラー用炉材 ■ グリーン冷媒 等

資源の有効利用

- 燃料電池用部材
- リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

持続可能な地球環境の実現への貢献



社会インフラの整備

- 建築用ガラス ■ 苛性ソーダ
- 次亜塩素酸ソーダ ■ 重曹 ■ 塩ビ 等

安全・快適な モビリティの実現

- 自動車用ガラスアンテナ
- 車載センシング・レーダー用部材 ■ HUD部材 等

情報化・IoT社会の構築

- 建物窓取付アンテナ ■ 半導体製造用部材
- ディスプレイ用ガラス ■ 高速通信用部材 等

安全・快適な都市インフラの実現への貢献



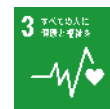
食糧問題への対処

- 農薬原体・中間体
- 農業温室ハウス用フィルム 等

健康・長寿社会への対応

- 医薬品原体・中間体 ■ 高速通信用部材
- 水処理用高機能膜 等

安心・健康な暮らしの実現への貢献



サステナビリティ “健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

AGCグループの 企業活動

社会的価値

気候変動問題への対応

- 継続的な省エネ対策実施
- GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

資源の有効利用

- 再生原材料や再生資材の活用
- 埋立て処分の削減 等

社会・環境に配慮した サプライチェーン

- 人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

地域社会との関係・ 環境配慮

- 水使用量削減 ■ 生物多様性保全
- 環境事故撲滅 ■ 地域のファン作り 等

公正・平等な雇用と 職場の安全確保

- 従業員エンゲージメントの向上
- 重篤災害・休業災害の発生防止 等

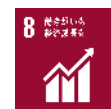
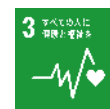
持続可能な地球環境の実現への貢献



健全・安心な社会の維持への貢献

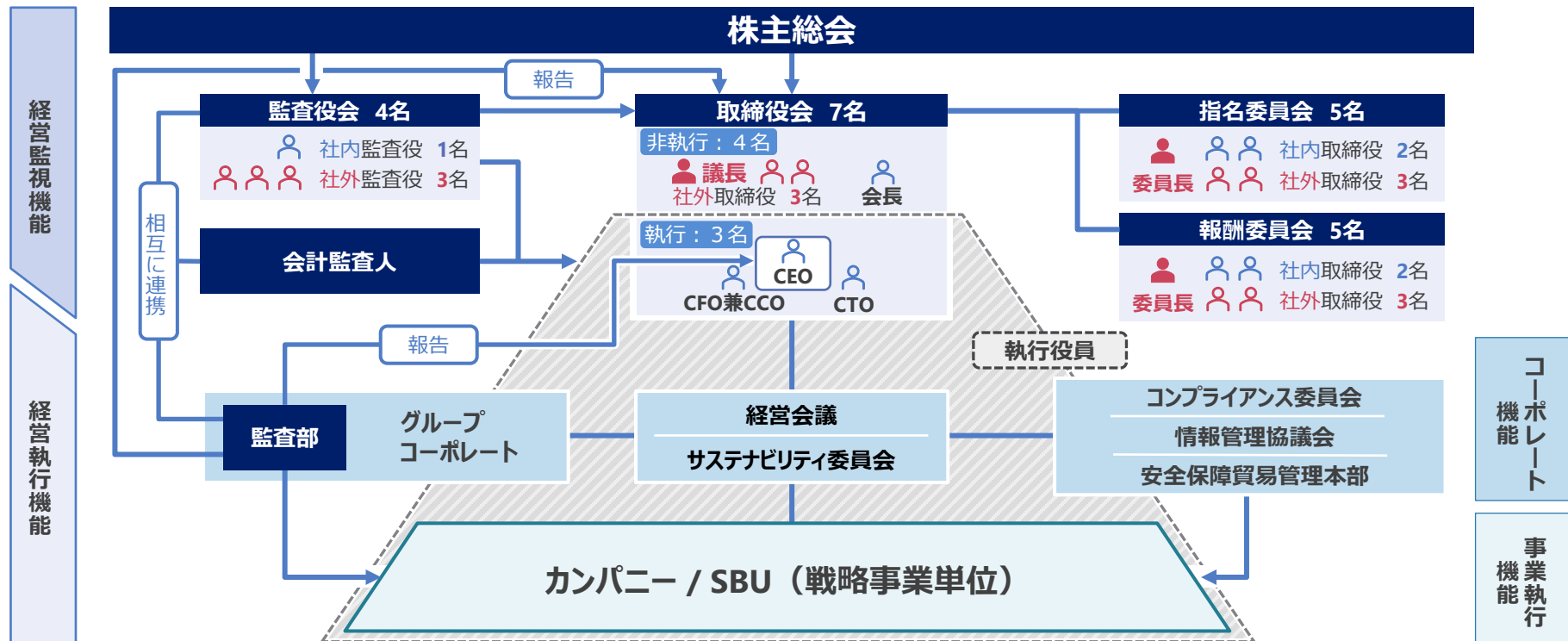


公正・安全な働く場の創出への貢献



当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役





FTSE4Good Index Series に選定



FTSE Blossom Japan Index に選定



CDP Climate Change A 評価
CDP サプライヤー・エンゲージメント・リーダー に選定



SBTi 温室効果ガス削減目標「WB2℃」認定取得



「第6回日経スマートワーク経営調査」4星の格付けを獲得



「健康経営優良法人2023ホワイト500」に選定



EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得
「PLATINUM」：鹿島工場、AGC Pharma Chemicals Europe社
他国内外複数拠点で高評価

Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に選定



「DX銘柄2022」に選定

2023年 主要発表事項

 発表日	 内容
1月12日	SBTi から温室効果ガス削減目標「WB2℃」の認定を取得
1月23日	ガラス溶解プロセスにおけるデジタルツイン技術を開発しフロート窯での運用検証を開始
1月27日	DXで建築用ガラスの工事積算工程を効率化
2月6日	A G Cとサンゴバン社、板ガラス製造におけるCO2 排出量大幅削減に向け共同開発に合意
2月8日	ロシア事業について譲渡の検討を開始
2月8日	報告セグメント変更に関するお知らせ
2月8日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2月8日	減損損失の計上ならびに2022年12月期通期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ
3月8日	4年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定
3月16日	CDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」企業に選定
3月23日	フッ素製品の製造能力増強を決定
4月17日	化学品プラントにおけるプロセスデジタルツインを開発、インドネシアの塩化ビニルモノマー製造プラントにて運用を開始
4月27日	EUV 露光用フォトマスクブランクス生産能力を増強

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge